

## Meta Trader 4 (MT4) で一切加工のないインターバンク・レートの提供を開始 ～スプレッドのマークアップを廃し、透明性の高い自動売買環境を提供～

FXCM ジャパン証券株式会社（以下 FXCM ジャパン(FXCM Japan Securities Co., Ltd.)、本社：東京都千代田区大手町、代表取締役社長：飯田和則）は自動売買対応の FX 取引プラットフォームである Meta Trader 4 (MT4) \*において、マークアップ等一切加工のないインターバンク・レートそのままを提供するサービスを本日開始し、あわせて透明性の高い、低額の手数料制に移行すると発表いたしました。

FXCM ジャパンはかねてより、ディーリング・デスクを介さず、顧客との利益相反が生じない NDD（ノー・ディーリング・デスク）モデルを提唱しております。そして今回、インターバンクそのままのレートを NDD で提供するモデルを日本国内に導入することで、FXCM ジャパンは引き続き「公平な取引環境」ならびに「透明性ある取引コスト」を投資家の皆様にご提案していきます。

FXCM ジャパンは MT4 口座に先駆けて、2014 年 8 月 21 日に一切加工のないインターバンク・レートをそのまま提供する新スタンダード口座の新規口座受付を開始いたしました。新スタンダード口座による 1 カ月間の取引量を、同様の裁量取引プラットフォームである「Trading Station」を利用した従来の口座と比較した結果、2014 年 9 月の取引量はリリースから 1 カ月間で従来の口座と匹敵する取引量となっています。（下記表）

商品名	特長	取引プラットフォーム	手数料	2014年9月取引量の割合	2014年9月稼働口座数の割合
スタンダード口座	NDD 約定モデル	Trading Station	なし マークアップ方式	37.51%	56.96%
<b>新スタンダード口座</b> (2014年8月21日開始)	<b>NDD 約定モデル</b> <b>ゼロ/マイナス・スプレッド発生あり</b>	<b>Trading Station</b>	<b>あり</b>	<b>35.46%</b>	<b>5.20%</b>
プレミアム口座	NDD 約定モデル ユーロドル・ドル円のスプレッドは原則固定	Trading Station	なし マークアップ方式	27.03%	37.84%

※取引量と稼働口座数の割合にはその他口座（CFD 口座、ミラートレーダー口座、MT4 口座）は含まれません。

新スタンダード口座が実現する生のインターバンク・レートでは指値・逆指値の注文執行のメリットが大幅に拡大するため、特に取引頻度が多いお客様や短期取引スタイルのお客様に受け入れられたものと考えています。今回サービスを開始する MT4 のプラットフォームにおいては、FX 取引の経験者や自動売買の利用者が多数おられます。透明性のあるイン

ターバンク・レートの提供や利益相反のない NDD 取引環境はそのような投資家のニーズに応えるものであると考えています。

## ■ インターバンク・レートで直にお取引できる MT4 口座をリリース

本日 2014 年 10 月 9 日より、マークアップ等一切加工のないインターバンクの生レートを提供する MT4 口座（手数料制）の新規口座開設申込の受付を開始。すでに MT4 口座をご契約しているお客様は新仕様への変更を申請することで、新しい仕様での取引を開始することができます。なお、12 月 8 日には全ての既存 MT4 口座が新仕様に移行される予定です。

## ■ MT4 口座の取引概要ならびに手数料

項目	仕様基準	
口座開設基準	初回ご入金額：30 万円から（個人）、50 万円（法人）	
手数料体系	標準手数料 片道 1 万通貨単位（税込）	
	ドル/円	¥20
	ユーロ/円 ユーロ/ドル ポンド/円 豪ドル/円 NZ ドル/円	¥30
	ポンド/ドル 豪ドル/ドルなど その他 33 通貨ペア	¥50
	優遇手数料 片道 1 万通貨単位（税込）	
	ドル/円	¥15
ユーロ/円 ユーロ/ドル ポンド/円 豪ドル/円 NZ ドル/円	¥20	
ポンド/ドル 豪ドル/ドルなど その他 33 通貨ペア	¥50	
	※新規ポジションを建てる際に決済時の手数料も合わせた往復の手数料が口座から差し引かれます。	
優遇手数料適用条件	以下 2 つのいずれかのお取引条件を満たしているお客様は、優遇手数料でお取引いただけます（要申請） ① 150 万円以上の取引証拠金残高 ② 過去 1 ヶ月の取引高：2,000 万通貨以上	
MT4 の特設サイト	<a href="http://www.fxcm.co.jp/rawmt4">http://www.fxcm.co.jp/rawmt4</a>	

## ■実質往復取引コストの算出方法(1万通貨：参考)

実質往復取引コストは「スプレッド」と「往復手数料」の2つの要素から構成されています。以下1万通貨あたりの実質往復手数料は以下のとおりです。

通貨ペア	スプレッド(※)	往復手数料 (スプレッド換算)	実質往復取引コスト
ドル円	0.1 銭	¥40 (0.4 銭)	<b>¥50</b> (0.1+0.4=0.5 銭)
ユーロドル	0.2 pips	¥60 (0.6 pips)	<b>¥80</b> (0.2+0.6=0.8 pips)
ユーロ円	0.2 銭	¥60 (0.4 銭)	<b>¥80</b> (0.2+0.6=0.8 銭)
豪ドル円	0.3 銭	¥60 (0.4 銭)	<b>¥90</b> (0.3+0.6=0.9 銭)
ポンド円	0.5 銭	¥60 (0.4 銭)	<b>¥110</b> (0.5+0.6=1.1 銭)
ポンドドル	0.4 pips	¥100 (1 pip)	<b>¥140</b> (0.4+0.1=1.4 pips)

※弊社は NDD モデルを採用しているため、スプレッドは変動制となっております。上記スプレッドはあくまでも実質お取引コストを算出するための参考スプレッドです。

## \*自動売買プラットフォームのなかで圧倒的な支持を得ている MT4

MT4 はロシアの MetaQuotes 社が開発・提供している取引プラットフォームです。独自のテクニカル指標を組み込むことができる高性能なチャート機能を搭載し、自動売買プログラムのエキスパートアドバイザー (EA) を利用することで自動売買にも対応できます。MT4 は世界でも圧倒的な支持を得ており、2014 年第 2 四半期 (4 月～6 月) で全世界のリテール FX 取引量の 26.9% を MT4 が占めています。(※出典：Forex Magnates Q2 Industry Report 2014)

## FXCM ジャパン証券株式会社について

FXCM ジャパン証券株式会社は、NY 証券取引所に上場する FXCM Inc. (NYSE ティッカー：FXCM) の 100% 子会社です。FXCM は日本の関東財務局を含む世界主要国の監督機関に登録され、世界的なサービスを提供しています。

FXCM グループはその初期の段階から日本を非常に重要な市場と位置付け、2001 年より日本でサービスを提供している日本において FX を提供する会社のなかで最も長い歴史をもつ金融法人の一つです。FXCM グループは常に最先端のテクノロジーを追求し、お客様には公平で透明性のある取引環境を、安心してご利用いただくことを目指しています。

FXCM ジャパン証券の詳細情報は <http://www.fxcm.co.jp> でご覧いただけます。

# News Release



## 本件に関するお客様のお問い合わせ先

FXCM ジャパン証券 カスタマーサポート

フリーダイヤル : 0120-733-776

Email : [support@fxcm.co.jp](mailto:support@fxcm.co.jp)